



三重県下 初！ 産官学連携による食品ロス削減アクション

「すぐ食べるならつれてって！」キャンペーン

～ 期限が近いものから購入して、お店の食品ロスを減らそう ～

【背景】

令和元年10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、国や地方公共団体は食品ロスの削減に取り組む責務を負うこととなりました。

その流れを受け、伊勢市では令和元年9月、『ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会』の会員で、市内でスーパーマーケットを展開している事業者7社と三重県で『減らそに！いせの食品ロス協議会』を立ち上げました。

令和元年度は会員の4事業者13店舗で第1回「すぐ食べるならつれてって！」キャンペーン（R1.10.30～7日間）を実施。

今年度は、キャンペーン期間を食品ロス削減月間である10月の1か月間に拡大し、さらに宇治山田商業高等学校のSDGsを研究する生徒たちと協働して、第2回キャンペーンを実施します。

【目的】

消費者に対し、すぐ食べるなら期限の近いものから購入するよう意識付けをし、市内で食料品を扱うスーパーでの食品ロス（廃棄）を削減する。

【概要】

- 1 購入した見切り品の「割引シール」「値引きシール」を集め、専用の応募用紙に貼って応募すると、抽選で豪華賞品が当たる。
- 2 キャンペーン期間中、かもしかのごみバスターズの着ぐるみとともに食品ロスに関する啓発チラシを店頭で配布。（宇治山田商業高等学校の生徒も参加）
- 3 ポスターおよび啓発チラシの裏面を宇治山田商業高等学校の生徒が企画、デザインし、若い世代から食品ロス削減へのメッセージを発信する。

【キャンペーン実施店舗】※予定

市内のぎゅーとら全店舗、ベリー全店舗、マックスバリュラパーク店、コープみえ宮川店（4事業者13店舗）

【主催】

減らそに！いせの食品ロス協議会

【今後の展望】

市内の飲食店から排出される食品ロスを減らす施策や、未利用食品の活用（フードドライブ）などの施策を講じ、伊勢市の燃えるごみの減量化へと繋げたい。

第2回

すぐ食べるなら つれてって！ キャンペーン

2020 食品ロス削減月間



10月
1木 ~ 31土

期間中に
値引シールを集めて
応募しよう

応募用紙と応募物の場所は
お店の人に聞いてね！



10月は「食品ロス削減月間」 食品ロスを減らすための行動を！

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを、「食品ロス」といいます。日本の食品ロスは、年間612万トン！すぐ食べるなら、消費期限・賞味期限が近いものから購入して、お店の食品ロスを減らそう！

値引きシールを集めて キャンペーンに応募しよう！

消費期限・賞味期限の近い商品には、値引きシールが貼ってあります。商品を買って、値引きシールを応募用紙に貼って応募すると、豪華賞品が当たるかも！？



お米
松阪牛



ニンテンドー
Switch

